

AKB



阿南市観光ブック

あなんが
何となくわかる本。





あなんを巡る。

あなん
あなん




ジャンボ招き猫がお出迎え!
受験生のつよへい味方♪

1 お松大権現

通称「猫神さん」。江戸時代、奉行の不当な裁きを不服として直訴し処刑された「お松」という女性の愛猫が妖怪変化となり、奉行の家を代々祟り続け仇を討ったとの伝説が残っている。有馬・鍋島と共に日本三大怪猫伝として名高い。また勝負・願い事の神様で、受験シーズンは合格祈願の参詣者で賑わう。



 猫神さんだけあって、約1万体の招き猫や高さ2mジャンボ招き猫が鎮座。猫好きにはたまらない場所です。

●場所 / 阿南市加茂町不け63
※徳島バス加茂谷線「加茂谷」下車



四国で最初に日が昇るまち

阿南市へようこそ

温暖な気候と

海・山・川の自然に恵まれ、

遺跡や阿波水軍の古い歴史と

四国遍路のお接待文化がのこる一方で

LEDの世界的な生産も誇る、徳島県阿南市。

そつした阿南市の魅力を探検し、

再発見した一冊が

「A(阿南市) K(観光) B(ビジネス)」です。

阿南市の旅のお供に

ぜひお役立てください。

阿南市観光ブック Contents

- ◎ あなんを巡る。 P3
- ◎ 特集・旬のキーワードで再発見! あんな阿南、こんな阿南
キーワード1 四国最東端 P10
- キーワード2 まちづくり P16
- キーワード3 歴史・史跡 P20
- キーワード4 技の伝承 P24
- ◎ 阿南の美味しいもん P28
- ◎ 道の駅・公方の郷なかかわ
- ◎ アクセスマップ



「阿波松島」橘湾を眺む風光明媚。

④ 津峯山・津峯神社

阿波三峰のひとつ津峯山一帯が桜の名所として知られ、津峯スカイラインや参詣リフトからの眺めは絶景。山頂には津峯神社があり、開運延命・病氣平癒・海上安全の神として信仰され、春の桜祭は力を競う「ささげもち」競争を開催。秋には観月祭、中秋の名月には「浦安の舞」が奉納される。

- 場所 / 阿南市津乃峰町東分 343
- ※ JR牟岐線「阿波橋駅」下車→徒歩30分
- JR牟岐線「見能林駅」下車→車で10分



山頂の駐車場で、地域の事業者が出店する「そらマルシェ」が開催されています。



⑥ 最下最古の神社建築。 金刀比羅神社

海を鎮める神を祀る金刀比羅神社には、『災い除けの黄色い塩』や『身代わり人形』があり、祈願をお願いするといただける。また、子供神楽の『博学狸金びら三本足狸問答』が古くから語り継がれており、その三本狸を祀った祠もある。

- 場所 / 阿南市福井町土佐谷 3
- ※ JR牟岐線「阿波福井駅」下車→徒歩15分



⑤ 境内に樹齢七百年余の大楠が群生。 轟神社

弘仁元年(814)に創建したと伝えられる古社。境内の大楠は県の天然記念物にも指定。その根元に棲む2匹の白蛇は轟明神の使者として現れ、見た者には幸福が訪れるという伝説がある。

- 場所 / 阿南市新野町北宮ノ久保
- ※ JR牟岐線「新野駅」下車→徒歩15分



阿南市からの歩き遍路もおすすめ! 春のシャクナゲ・秋の紅葉がgood。歩くのはちょっと大変だけど、晴れた日の景色は絶景かな♪

- 場所 / 阿南市加茂町龍山 2
- ※ 徳島バス丹生谷線「和食東」下車→「太龍寺ロープウェイ」
- ※ 徳島 IC から車で約75分



延暦11年に弘法大師が創設したと言われるこの寺は、標高602mの山頂付近にある遍路泣かせの難所で現在はロープウェイが運行している。周囲には樹齢数百年の老杉が生い茂り、江戸時代に再興された仁王門・六角経蔵・本堂・大師堂・多宝塔などの諸堂が立ち並んでいる。

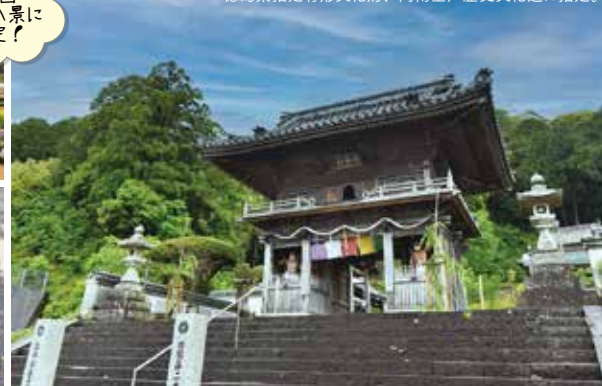


「西の高野」と言われる四国霊場二十一番札所。
② 太龍寺



四国八十八景に認定!

徳島県指定有形文化財、阿南室戸歴史文化道に指定。



③ 四国霊場二十一番札所 創建八一四年。 平等寺



井戸を覗いてみたら、水は本当にあつたんです! 現在は無色透明の水になっていて、霊水を持ち帰れます(有料)。

- 場所 / 阿南市新野町秋山177
- ※ JR牟岐線「新野駅」下車→徳島バス新野線「新野局南」下車

弘法大師がこの地で修行中、薬師如来を感じし自らその像を刻んで本尊として伽藍を建立。人々を平等に救うために寺号を平等寺とした。またその時に加持水を求めてこの地を掘ったところ、白い霊水が湧き出てきたため、山号を白水山としたという。この湧き水は万病の妙薬とされた。

西日本唯一の
松原！
あぁ絶景かな



13 北の脇海水浴場

年間約5万人が訪れる徳島県最大級の海水浴場で、「日本の渚百選」の一つに選ばれている。きれいな水と遠浅、広大な松原と2kmにも及ぶ長い砂浜は西日本唯一。臨海道路や駐車場、休憩所、シャワーなども完備し、毎年車で訪れる家族連れや若者達で賑わっている。



約30haといわれる松原がすごい。まさに白砂青松の景観。地引き網の体験もできます♪

- 問合 / 0884-24-3141 (阿南市観光協会)、0884-28-9933 (うみてらす北の脇)
- 場所 / 阿南市中林町
- ※JR牟岐線「阿南駅」下車→バスで10分



15 中林海岸

室戸阿南海岸国定公園内にあり風光明媚で美しい海岸線。海には小さな島や岩礁がたくさんあり、磯釣りのポイントにもなっている。

- 場所 / 阿南市中林町

自然を巡る。

観



四季で表情が変わる
美しい滝

12 午尾の滝

深瀬町の静かな山間にひっそりと佇む落差30mの滝。水量の少ない冬は白布をさらしたように美しく、水量豊かな夏は豪壮である。また春の桜、秋の紅葉と周囲の樹木を縫って落ちる景観は一見の価値あり。

- 場所 / 阿南市深瀬町
- ※徳島バス加茂谷線「中央橋南」下車→徒歩10分
- ※国道55号線「那賀川橋」→11km (30分)



14 淡島海水浴場

すばらしい景観と遠浅に恵まれた海水浴場。「海の眺めぢゃ淡島あたり 夏は涼しい浜遊び」と、昭和の童謡詩人、野口雨情はその美しさに触れ、絶賛したといわれる。また、近年は SUP 遊泳地として賑わっている。

- 問合 / 0884-24-3141 (阿南市観光協会)
- 場所 / 阿南市畷町



9 羽ノ浦スポーツランド (スケートボード場)

「羽ノ浦スポーツランド」内に2011年に完成した公共のスケートボード場。子供から大人、女性まで年齢性別もさまざまにスケートボードが親しまれている。

- 営業 / 4月～10月 9:00～21:00
11月～3月 9:00～17:00
(毎週月曜日・年末年始休館)
- 問合 / 0884-44-3000
- 場所 / 阿南市羽ノ浦町宮倉沢田132



11 観音山古墳(拳正寺)

拳正寺山(観音山)の中腹に南面し、穴観音として信仰されており、その奥に如意輪観世音の石像を祀っている。古墳内部を格子ごしに見ることができる。

- 問合 / 0884-44-2427 (拳正寺)
- 場所 / 阿南市羽ノ浦町中庄字千田池33
- ※JR牟岐線「羽ノ浦駅」下車→徒歩15分



8 JA アグリあなん 運動公園 (徳島県南部健康運動公園)

「子どもからお年寄りまで気軽にスポーツを楽しめる施設」をコンセプトにつくられた運動公園。施設は、野球場、陸上競技場、テニスコート、遊具広場などがある。

- 営業 / 4月～10月 8:30～22:00
11月～3月 8:30～17:00
- 問合 / 0884-26-1885
- 場所 / 阿南市桑野町桑野谷

10 Jパワー&よんでん Wa ンダーランド



天井からはクジラの骨標本が。



様々な体験ができる館内。



館内は発電の仕組みや科学の不思議をわかりやすく紹介しているスパイラル館、巨大な航空写真の床上を散策して観光スポットを巡ることができるクリスタル館があり、屋外には四季を彩る草花や大きな芝生広場や楽しい遊具がある。

- 営業 / 10:00～17:00 (毎週火曜日・年末年始休館)
- 問合 / 0884-34-3251 (Jパワー&よんでんWa ンダーランド)
- 場所 / 阿南市福井町舟端1



入場無料!! 月に1回はイベントがあるので、親子で楽しめる! 見晴らしもいよいよ



7 阿南西部公園 (ひまわりランド)

山の斜面を利用して作られたので見晴らしもよく、眼下には那賀川が望める。自然の地形を生かした多目的の芝生広場。遊歩道を中心に気軽に運動や遊びに親しめる。



公園の入口や園内には季節によって色々な花が咲いています。5月はシャクヤクが満開でキレイ。

- 場所 / 阿南市中大野町南傍

子ども大人も
楽しめる
体験型施設。

近くの穴観音様も楽しいです。



16 明谷梅林園

県下で最も大規模な梅の名所で、約5万㎡の個人敷地に様々な品種約4000本を栽植。見頃は2月上旬～3月上旬。



園をちょっと上がったところにある奥の院「穴観音様」洞窟は、一周すると幸せになれるという言い伝えがあるらしいです。

●場所 / 阿南市市長生町明谷

※JR牟岐線「阿南駅」下車→車で20分

※徳島バス長生線「明谷梅林口」下車→徒歩30分



ライトアップされた夜桜が幻想的。



17 羽ノ浦桜づつみ公園

桜の名所として知られ、付近には明現神社や、第19番札所立江寺の奥の院と称せられる取星寺がある。花見シーズンのライトアップされた夜桜は見物。



桜のほか、藤やツツジなどが植樹されていて、自然を堪能しながら散歩ができます。

●場所 / 阿南市羽ノ浦町岩脇

※JR牟岐線「羽ノ浦駅」下車→徒歩40分



伊島で見られない可憐なユリ



19 伊島のササユリ

蒲生田岬の東海上、紀伊水道に浮かぶ周囲9.5kmの伊島（人口約200人）。ここだけに自生する固有種のイシマササユリが、優雅な花を咲かせる。6月が見頃。



上空から見た島の形が「い」という字に似ているから「伊島」らしい。旅館も1軒あるので、ノンビリしたい方にはオススメ

●問合せ / 0884-33-1271（伊島漁業協同組合）

●場所 / 阿南市伊島町

※JR牟岐線「阿波橋駅」下車→徒歩5分の答島港から伊島まで連絡船1日3便。



園から眺める景色は徳島88景のひとつ。



18 椿自然園

園内には700余種3000本の椿。同園では椿の栽培指導、苗木の販売展示があるほか、園内には宿泊設備やレストランもあり、地元の新鮮な魚貝類が味わえる。



椿はもちろんですが、橋湾を眼下に見下ろす風景も見物です。入園も無料

●問合せ / 0884-33-1127

●場所 / 阿南市椿町瀬井 45

※JR阿波橋駅から車で20分

※徳島ICから国道55号経由で43km90分

特集・旬のキーワードで再発見！

あんな阿南、

KEYWORD

四国の東、徳島の南。
徳島県で二番目に多い人口の約七万人が暮らす阿南市は温暖な気候と豊かな自然に恵まれ見どころ、遊びどころ、食べどころがいっぱい。そんな中でも近ごろ話題のキーワードを軸に阿南市の魅力を再発見してみます。

こんな阿南。

阿南市の東南、室戸阿南海岸国立公園内にある蒲生田岬は、四国の最東端の地。東側の海上約6キロには磯釣りやイシマササユリで知られる伊島が浮かんでいます。この辺りは四国で最初に朝日が昇る場所といわれ、特に晩秋から冬にはΩ（オメガ）の形をした珍しい日の出「だるま朝日」が見られることもあります。

岬の北側には椿泊浦が広がり、その北側に半島と橋湾が広がっています。山並みが続く半島に挟まれた穏やかな椿泊浦の一角は自然がつくった良好な港で、漁業が盛んなのはもちろん、土佐や上方への交通の要衝としても古くから重宝されてきました。天正14年（1586）には阿波水軍の大将、森家が土佐の押さえとして椿泊に移住。森一族は江戸時代を通じて阿波藩の海上方として活躍しました。

蒲生田岬一帯は、雄大な大自然と歴史ロマンが詰まった場所なのです。

■蒲生田岬灯台

岬の突端のこんもり高い山の頂上に立つ白い灯台は大正13年に点灯。岬と伊島の間の「橋杭の瀬」は潮流が速く、岩礁も多くて航行が難しいので灯台の役割は大変重要です。

標高約40メートルの灯台展望台からは白い波しづきを立てる落（はえ）が点在する雄大な太平洋や、緑濃い阿南の山々の美しい景色が楽しめます。天気の良い日には遠く和歌山県の日の岬や、北の方向には大鳴門橋や淡路島まで見渡せます。



蒲生田岬灯台キャラクター「蟻馬亀太郎」
灯の守り人



灯台までは一直線に伸びる石段を上るか、回り込んで上がっていく遊歩道を登るか。ふもとにはピクニックに訪れたい広場がある。

■モニュメント「波の詩」

灯台へ向かう、遊歩道の入口横に2010年秋、石のモニュメント「波の詩」が完成しました。阿南市の彫刻家・大津文昭さんの作品で、高さ2.6メートル、幅3.4メートル、奥行0.8メートルの大作です。作品の中央にぼつかり空いたハート型の穴からは大海原の水平線や伊島の姿が望め、蒲生田岬の波や風、大空と一体化しています。ハート型の穴は大人2人が座れる大きさで、ここで愛を誓い合った恋人たちは結ばれるということに…。真偽はともかく、モニュメントが設置されたからにはこの「恋人岬」を訪れるカップルが増え、散策や記念撮影をして楽しまれています。



■ウミガメが帰ってくる浜

温暖な気候に恵まれた蒲生田地域では、蒲生田大池のアンペライの群生などをはじめ、熱帯・亜熱帯植物の貴重な群落が見られます。

蒲生田海岸はアカウミガメ産卵地として知られており、阿南市ではウミガメ保護条例を公布し、地元の方も保護活動に熱心に取り組まれています。



休校中の蒲生田小学校では1954年から38年間ずっと児童がウミガメ上陸の観察を記録し、数々の賞に輝いた。現在は椿町中学校と地元の方が活動を引き継いでいる。



四国最東端



阿波水軍の海上輸送を描いた屏風絵。江戸時代の参勤交代では大小の船で船団を組み、森甚五兵衛が指揮して土佐へ向かったという。

橋湾と蒲生田岬の間、紀伊水道に伸びる半島の南側にある樅泊町は、海と山にはさまれた細長い漁師町。東西約2キロメートルにわたって狭い曲がりくねった道が走り、両側に家が立ち並んでいます。ここは昔、阿波水軍の大将であった森家の本拠地でした。森家は蜂須賀氏に仕えて3千石を与えられ、天正14年(1586)二代目村春のときに移住して、土佐への押さえとして樅泊に「(別名) 松鶴城」を築城。ここを拠点に朝鮮出兵や大阪冬の陣に参戦して、阿波水軍の活躍ぶりは全国に知れ渡りました。

四代目村重からは甚五兵衛を名乗り、江戸時代は徳島藩の海上方として参勤交代などで輸送を担当。樅泊は森家の城下としてにぎわい、明治以降も漁業が発展していきました。現在、漁業では特産のハモをはじめ、タチウオやイセエビ、たくさん種類の魚介類に年間通して恵まれ、県内トップの水揚げ高を誇っています。人情豊かな漁師町は映画『奇跡の海』の舞台にもなりました。

敷地が狭いため2階建ての家が多く、1階2階とも飾り付き欄干が見られる。



■ 樅泊の町並み

車一台がやっと通れる細い道の両側には家々が肩寄せ合って立っています。古い木彫りの手すりが残るレトロな風情の家や新しい住宅、その間を散策すれば漁師町の豊かな人情が感じられます。

東へ進んだ突きあたりには「松鶴城」の跡地に立つ樅泊小学校があり、



左側が燈崎と刈又埼灯台。すぐ前には舞子島で、遠くに見えるのは伊島。右に蒲生田岬が伸びている。

松鶴城跡に立つ樅泊小学校。正門には「松鶴城」の文字が刻まれた石碑が立っている。

■ 樅川のシロウオ漁

すぐ南側はもう海。さらに東へ行った半島の突端は燈崎(ひうちざき)と呼ばれて火打石の採石場跡が残っています。先端には刈又埼灯台が立ち、すぐ前方には舞子島、遠くに伊島、南に蒲生田岬の半島が見渡せ、大海原の爽快なパノラマにリフレッシュできます。

樅泊の西にある樅町の樅川周辺では、毎年2月下旬から春の風物詩のシロウオ漁がおこなわれています。ハゼ科のシロウオはヒウオとも呼ばれ、水がぬるむ春になると産卵のために満ち潮に乗って川へ遡上してきます。川岸から2メートル四方の四つ手網ですくい、透明で体長4〜5センチのピチピチと跳ねるシロウオは、躍り食いやすまし汁でいただくのが定番。4月上旬までの短い期間の珍味です。



樅泊の道明寺の裏山には森家累代のお墓が並んでいる。



高台にある森家の墓所からは樅泊の町並みと、穏やかな海が見渡せて絶景。(左)



さざなみの湯 露天風呂



うみがめの湯



健康福祉風呂
(ふれあいの湯)
車イスも入浴可能。
予約制です。



サウナ



さざなみの湯

日本三景の一つ松島に例えられる阿波の松島、橘湾の穏やかなさざ波をイメージにしたお風呂からは、遠くは淡路島、和歌山が紀伊水道を挟んで眺望できます。



休憩所

橋との分岐点からは、温泉までは海岸沿いのくねくね道。湾内の風景を満喫しながら、のんびりとドライブ。



地元の海の幸をお楽しみ下さい。入浴前に予約するのがオススメです。



ウミガメを連想させる面白い形をした露天風呂の「うみがめの湯」。対岸に見えるのは阿波水重の本拠地であった樫治。

かもだ岬温泉保養施設

蒲生田岬に通じるトンネル手前の高台に、2001年に阿南市が開業した『かもだ岬温泉保養施設』があります。高台からは樫泊湾や舞子島が目の前に。晴れた日は淡路島まで臨む美しい大海原が一望できます。

温泉は、においがなく肌ざわりが軟らかで気持ちがいいと大評判。岬に上陸するウミガメや阿波の松島、橘湾のさざ波をイメージしたお風呂は、露天風呂や時間にによる貸切もできます。眼下に広がる碧い海を眺めながら100パーセントの源泉に至る福のひと時をすごしませんか。

【施設概要】

※宿泊施設なし

- ◎泉質／単純温泉(低張性弱アルカリ温泉)・温度35.2℃、湧出量90ℓ/分
- ◎適応症／神経痛、筋肉痛、関節痛、慢性消化器症、冷え性など
- ◎入浴料／一般600円、児童300円(3歳未満無料)
- ◎営業時間／10:00～19:00(都合により時間変更有り)
- ◎休館日／毎週月曜日(祝日の場合は翌日休み)、1月4日～7日・12月29日～30日
- ◎駐車場／150台

◎問い合わせ／TEL.0884-21-3030

※「さざなみの湯」と「うみがめの湯」は半月ごとに男湯と女湯で入れ替えます。

※阿南市在住の70歳以上毎月3回、および知的障がい者、身体障がい者、精神障がい者、介助人は無料です。

※「ふれあいの湯(健康福祉風呂)」のご利用は、事前に予約が必要です。入浴料のほか、使用料として1時間当たり、5人までごとに2,000円が必要です。

野球のまちづくり

温暖な気候と自然に恵まれた阿南市はスポーツが盛ん。中でも、野球は昔から人気が高く、少年から古希(70歳)まで、90を超える連盟登録をしたチームがあります。

2007年には、四国最大級の『JAアグリあなんスタジアム』の完成を機に『野球のまち阿南構想』がスタート、2010年には産業部の中に『野球のまち推進課』が創設されました。「野球」の冠がついた課がつくられるのは全国の自治体でも初めてのことです。

阿南市は野球を通じて産業・観光の活性化とスポーツ振興をはかることを決定、野球によるまちおこしは全国からも注目を浴びています。

また、近年では、野球人口のすそ野を広げるため、小さな子どもでも野球に親しめるティーボールの普及も行っています。



北信越地区高校 選抜直前合宿



阿南市の60歳以上の女性らでつくるチアリーディングチーム「ABO 60」



道の駅 公方の郷に完成した89番「野球寺」のモニュメント



運営スタッフ養成の取り組み



ティーボールの大会



草野球談義に花が咲く 野球観光ツアー

阿南観光と野球の試合をセットにしたこの野球観光ツアー。単独チームで訪れても地元元チームとの対戦をセッティングしてくれ、審判員などサポート体制も整っています。

特に中高年チームの参加者には、うぐいす嬢に「バッター、○○君」と呼ばれスコアボードに名前が掲示されるのは大好評。球友と大好きな野球を楽しむ親交を深める濃い時間はかけがえのないものとなっているようです。



野球観光ツアーお問合せ

市野球のまち推進課
tel.0884-22-1297 mail:yakyuunomachi@anan.l.tokushima.jp

野球を楽しんだ後は観光や交流会での阿波踊りを楽しんで。

阿南・モンゴル 野球で草の根の国際交流

1991年、モンゴルの少年の「野球を始めたいが道具がない」との一通の手紙が、交流の1頁を開く。那賀川町体育協会を中心に、全国に呼びかけ4トントラック杯の野球道具をモンゴルに贈呈。野球少年たちへの民間交流も始まった。更にその情熱は浄財1300万円(モンゴルでは13億円にあたる)が集められ1996年には、モンゴルウランバートルに国立野球場が建設された。2013年、日本とモンゴルの野球交流を描き、阿南市でロケが行われた映画「モンゴル野球青春記」が、米ロサンゼルスで開かれた第5回オールスポーツ映画祭の長編映画部門でグランプリを受賞した。



2013年阿南市モンゴル訪問団



2012年モンゴル野球青春記ロケ風景



JAアグリあなんスタジアム

両翼100m、センター122mと甲子園球場より広く、黒土と天然芝の良好なプレー環境、四国最高レベルとされる照明設備で硬式野球のナイトー試合も行える本格スタジアム。



阿南市版ふるさと納税

「阿南市版ふるさと納税」で、かけがえのない美しい海洋環境を次世代の子供たちにつないでいきたい…。

四国の最東端、海に面したまち阿南市は、ふるさと納税を通して世界規模で深刻な問題となっている海岸・海洋汚染に対して真の向から取り組み、持続可能な社会づくりを実現させていく「阿南市オリジナル」の制度運用を行います。

返礼品を提供するのは、環境保全・美化・啓発活動や環境配慮商品の開発などに取り組み事業者 = 「EARTH SHIP PARTNER ANAN」です。地球を抱える環境問題に阿南市の海から新たなムーブメントを起していきたいと思いますと考えています。

阿南市版ふるさと納税へのご支援とご協力、よろしくお願ひします。



ビーチクリーン



リバークリーン



ビーチクリーン



ESPAの詳細・取組については…

Q エ斯巴阿南

海洋環境の保全・美化活動及び環境啓発・教育活動、並びに、阿南市が推し進める「阿南 SUP タウンプロジェクト」をはじめとする関係人口の創出・拡大・深化に資する事業に対して積極的に関わる企業・団体・個人等を「EARTH SHIP PARTNER ANAN」として登録し、官民協働で持続可能な社会づくりを実現するとともに、地域や企業のブランディング、地域経済の活性化等につなげていくことを目的としています。なお、EARTH SHIP PARTNER ANAN 登録事業者は、阿南市版ふるさと納税返礼品登録事業者としてエントリーできます。



阿南 SUP TOWN PROJECT

ANAN

阿南 SUP タウンプロジェクトとは？

本市には、海洋条件やロケーション等、SUPクルーズに適したポイントが点在しています。近年、市内のSUP愛好家を中心となって「阿南 SUP 振興協会」が設立され、パドラー同士の交流も活発化しているため、ビジターパドラーとローカルパドラーの交流を通じた関係人口創出への期待が高まり、SUPでまちおこしをする本プロジェクトを実施しています。



<https://sup-anan.com/esca/>

阿南の自然や食、そして地域住民との交流など阿南の魅力を体感してもらえるメニューが盛りだくさん。SUPを通して阿南市を体感し、地域との継続的なつながりを作ることで「阿南市ファン」の輪を広げていきます。



SUP 体験



まちなか SUP& プラスチックフィッシング



SUP ヨガ



歴史・史跡

国史跡 若杉山辰砂採掘遺跡

阿南市水井町にある「若杉山辰砂採掘遺跡」は、弥生時代後期から古墳時代初期に辰砂を採掘していたことが学術調査で初めて明らかとなった全国唯一の遺跡です。本遺跡は、我が国の鉱山資源獲得の在り方を示す遺跡として極めて重要であることから、令和元年10月16日に国史跡に指定されました。辰砂は、赤色顔料の「水銀朱」の原料となる鉱物で、石杵や石臼などの石器を用いてこれを朱に加工する工程の一部を若杉山で行っていました。

水銀朱は弥生時代から古墳時代に墳墓の埋葬主体に大量に使用され、若杉山で産出した水銀朱も各地の墳墓（古墳など）築造時に運び出されていったものと想定され、弥生・古墳時代の広範囲な流通を知る上でも非常に重要な遺跡です。



国史跡・若杉山辰砂採掘遺跡
マスコットキャラクター
「若杉シンシャくん」



辰砂を採掘してできた横穴（採掘坑跡）の内部



岩にみえる辰砂鉱脈



辰砂原石



辰砂原石を粉砕していた石器



国史跡 阿波遍路道（かも道）

四国八十八箇所霊場を巡る遍路道は空海ゆかりの巡礼道として、多くの人々が行きかっています。

2010年、阿南市では四国で初めて第21番札所太龍寺周辺の遍路道が国の史跡となりました。また、追加指定を受けた「かも道」も古道としての景観が長い距離をとおして色濃く残っています。空海行脚の道としても記載され、南北朝時代の石造物が残る四国最古の遍路道です。近年この道を多くの人が歩かれ、脚光をあびています。

2013年10月には遍路道に関する全国大会が阿南市で開催され、更なる追加指定、そして四国遍路の世界遺産に向けた取り組みが活発化しています。



弘法大師坐像



「かも道」三十六丁石付近の遍路道

牛岐城趾

富岡の町を見守り続ける。

牛岐城は、創建時期は不明ですが、戦国時代には阿波守護細川氏の家臣新開氏の居城でした。後に阿波の実権は細川氏から家臣の三好氏に移りましたが牛岐城主は変わりませんでした。

天正3年に土佐の長宗我部元親が阿波を侵攻、周辺の諸城がすべて落城しても牛岐城の新開遠江守道善だけは最後まで抗戦しましたが、ついに天正8年、土佐軍の軍門に降りました。天正10年、阿波全土を平定した長宗我部元親は道善を丈六寺で謀殺、弟の親康を牛岐城に配置し阿波南方の守備をさせました。

天正13年、豊臣秀吉の四国攻略により長宗我部軍は全面的に敗退し土佐に撤退、四国を掌中にした秀吉は蜂須賀家政を阿波国の大名に任命、家政は細山政慶（後に賀島に改姓）を牛岐城の城代に任じて兵三百で守らせました。牛岐城は阿波九城の一つであり、阿波南方最大の軍事拠点でした。

賀島政慶は間もなく牛岐の地名を縁起のよい富岡に改め、城も富岡城と呼ばれるようになりました。賀島氏は明治維新まで藩の次席家老としての重職を務めました。

寛永15年の一国一城令により富岡城は取り壊され、城の石垣は桑野川の灌漑施設である一ノ堰の建設に利用されました。城下町として成立した富岡町は城の廃止により商業地である郷町として徳島城下に次ぐ繁栄を遂げることとなりました。

富岡城の城山は南北に細長い瓢箪状の地形でしたが、大正2年の町道の開鑿により南北に分断されました。



牛岐城趾館に石垣の一部が残されています



牛岐・富岡城絵図（複製）



阿波公方

阿波南方文化の中心地

1534年（天文3年）、室町幕府第10代將軍足利義植の養子義冬は、足利家とゆかりの深い、天龍寺領であった平島庄（現在の阿南市那賀川町）に居を構えました。

平島の地には良質の港があり、上洛の機をうかがうには絶好の場所でありました。この義冬が初代「阿波公方」で、義冬の子、義榮は、この地より上洛し、室町幕府第14代將軍

となったのです。

その後、1805年（文化2年）、第9代阿波公方義根が阿波国を退去するまでの間、「阿波公方」の居館「平島館」には、高名な文人が入り出すなど、阿波南方における漢文学の中心地の観を呈し、文化・学術面にも大きな影響を与えました。その想いを偲ばれる史跡や文化財が多く遺されています。



西光寺（阿波公方の墓）



阿波公方ゆかりの資料



阿南市立阿波公方・民俗資料館

阿波公方の屋敷跡地に建ち、足利氏ゆかりの品々や資料、屋敷の大藁などの展示と地元の玉・農具・民具などが展示されています。近辺の西光寺は歴代公方の墓所があり、苔むした墓石からは歴史を感じることができます。

- 開館時間 9:00~16:30
- 入館料 大人 200円 / 中学生以下 無料
- 休館日 毎週月曜日・祝日・年末年始
- 問合せ 阿南市那賀川町古津 339 番地1 0884-42-2966



初代阿波公方 足利義冬像

先人たちの想いを今に伝える

中村園太夫座

人形浄瑠璃は江戸時代初期の17世紀初めに、三味線の伴奏で語られる義太夫節の浄瑠璃と人形芝居が結びついて生まれた芸能です。阿波に伝来する人形浄瑠璃の始まりは定かではなく、淡路の人形芝居を阿波の百姓たちが習得し、阿波の人形芝居が起るようになったといわれています。

絶頂期である明治中頃には、阿南市に24座の人形座があったそうです。現在新野町で江戸末期の1805年（文化2年）から活動をしている中村園太夫座は、現存する人形座の中では、最も古いといわれています。秋のお祭りの他、阿南市文化会館での公演や、全国で公演活動を行い、2012年には宮城県気仙沼市で「被災者を伝統芸能で元気づけよう」と復興支援公演を行いました。また、地元新野中学校に民芸部が発足し、指導も行っていきます。

山口座木偶保存会

かつて、神社社の境内には農村舞台があり、藤原惣之蒸座（通称山口座）による人形浄瑠璃芝居が盛んに行われていました。その始まりは天保年間（およそ180年前）、地元の農民が奉納する「地芝居」では最も古い形式といわれています。

現存する62体の木偶人形は、市の有形民族文化財にも指定され、阿波木偶文化の足跡と先人たちの想いを今に伝えています。

戦後、娯楽の多様化やテレビの普及などで山口座の活動は衰退しましたが、数人の有志によって三番叟だけは継承されています。昭和60年頃からは神社社敬神婦人会も加わり再興に力を注いでいます。

2010年には山口座木偶保存会に受け継がれ、12人の有志が妙技に磨きをかけていきます。



阿南市伝統工芸 特産品 阿波踊り竹人形

残された伝統工芸を後世に伝える 阿南市竹人形伝承会

「伝統工芸竹人形」を伝承していくことを目的に、2010年「阿南市竹人形伝承会」を発足されました。竹人形を「阿波踊り活竹人形」と新たに命名し、阿南市の観光土産品として商品開発・販売を始めました。国民文化祭の記念品として藍染めの手織布を生かし、徳島をPRする「やっとなさ」を開発しました。また、LEDでライトアップし、夜の雰囲気を出し出すなど、伝統に新しさをプラスした工夫も加え、阿波踊り活竹人形再興へと活動を続けていきます。



「阿南市竹人形伝承会」
作品販売先

- ◎道の駅 公方の郷なかがわ 阿南市那賀川町大字工地 803 TEL.0884-21-2631
- ◎道の駅 日和佐 海部郡美波町奥河内寺前 493-6 TEL.0884-77-2121
- ◎光のまちステーションプラザ 阿南市富岡町今福寺 40-17 TEL.0884-24-3141





LEDの光がまちを彩る

阿南市に本社がある日亜化学工業株式会社は、1993年に史上初めて高輝度「青色発光ダイオード」の製品化に成功し世界を驚かせました。

阿南商工会議所青年部がイベントで日亜化学から無償提供されたLEDを桑野川潜水橋に飾ったのが始まりで、2002年より牛岐城趾公園や商店街にイルミネーションを設置。感動の輪は次第に広がり、「光のまち阿南」というユニークなまちづくりに発展してきました。2004年よりAman LuminousTown Project が始まり「光マングラドーム」が登場。今では全国で定番のLEDイルミネーションの先駆けとなりました。竹とLEDを組み合わせた、高さ30メートルの「阿南スカイツリー」や、阿波踊り竹人形とのコラボなど、夏祭りとクリスマスイベントで牛岐城趾公園を中心に多くの人々で賑わっています。



牛岐城趾公園

阿南駅から徒歩10分の所にある戦国時代の城跡で「恋人の聖地」にも認定されている。展望台には、常設のキラキラドームがある。



阿南の美味いもん

阿南で取れる豊富な食材をまけまけいっぱい盛りつけてお寿司を作ってみました。

とれとれのアユ、ハモ、エビ、アワビぷりぷりのタケノコ、しいたけ、いろんな野菜たち。

お米はもちろん、地元自慢の「阿波美人」。

こんな豪華なお寿司が作れるのも

豊かな食材に加えて、人良し、水良し、気候良しのおいしいハーモニーがまちにあふれているから。

あなたも幸せな「食」体験を

阿南のまちでたっぷり召し上がれ。

阿南が誇るコシヒカリ
阿波美人
ふつからモチモチ、甘みのある人気一等米。関西方面でも販売され、いち早く出回る新米の美味しさは評判です。



美味しーもん
まけまけけん！

日本有数の漁獲高
ハモ (糟泊・橋)

高級食材として関西に出荷されるハモ。豊かな海が広がる阿南市の海の幸は鮮度抜群。新鮮で上品な味を楽しめます。

肉厚ジューシー
しいたけ (新野)

肉厚でぬめりがなくプリプリした食感。濃厚な香りと旨みがあり、贈り物としても人気です。



サンチュ (加茂谷)

阿波尾鶏

名物練りもん
皮ちくわ
フィッシュカツ

魚肉のすり身をカレー粉や唐辛子で味付けしてサクサクに揚げたフィッシュカツと、ハモの皮を2本の竹に巻き付け焼き上げた珍味皮ちくわ。県外へのお土産にも喜ばれます。

豊かな海の贈り物
地魚・塩もん (大瀬沖・糟泊)

「阿波の松島」と呼ばれる橋湾で穫れる新鮮な地魚の干物は種類も豊富。お魚ショッピングを楽しんでみましょう。

小鯛 (糟泊・橋)

足赤えび (糟泊・橋)

わかめ (糟泊・中島)

にんじん (大野)

アユ (那賀川)

全国有数の生産量
タケノコ (新野・福井)

太く大型で栗のような独特の味わい。手入れされた竹林で育つ白く柔らかなタケノコは高く評価されています。

しらす (糟泊・橋)

すだち (桑野・加茂谷)

カマス (橋・糟泊)

甘くてビタミンたっぷり
ハウスマカン (山口・加茂谷)

皮が薄くて柔らかく、やや小振りながら糖度の高さは抜群で、お盆の時期の贈答品として人気です。



老舗菓子店が知恵を寄せ合せて創作銘菓で阿南のまちをPR
銘菓「ひまわり娘」

県南菓子工業組合と阿南市・阿南商工会議所が連携して、阿南を代表する銘菓を共同開発しました。阿南市の花・ひまわりをイメージしたタックワーズの菓子「ひまわり娘」。和洋折衷の不思議な風味が特徴で、阿南名物として人気を呼んでいます。



ひまわりちゃん

地酒・塩

山や海の自然が生んだ

美しい自然環境は阿南の宝。古くから地酒が造られています。津乃峰酒造では日本一社の津峯神社の御神酒として『清酒津乃峰』を醸造。柔らかな甘みとコクの酒は長年地元で愛されています。また、中林漁協では水質の良さで知られる地元の海水から、まろやかな旨味の自然塩を手づくりしています。



しいたけ侍

煮るなり焼くなりお任せ致し候！

しいたけの菌床栽培が盛んな徳島県は生しいたけの生産量が日本一。中でもいま阿南市の新野木材株式会社が生産販売している「しいたけ侍」が大注目されています。このしいたけは驚くほど大きく肉厚で、旨味が濃いのが特徴。また、ぬめりが無くプリプリした食感、しいたけが苦手な人でも美味しく食べられるそうです。



旅の仕上げは
お土産探し!!

道の駅 公方の郷なかがわ

県南の特産品が勢揃い

国道55号線沿いにある「公方の郷なかがわ」。その由来は、室町時代末期から約270年間、足利將軍の末裔がこの地に居を構え、長年親しまれてきたことから名付けられました。ここでは、阿南市をはじめ県南の特産品があり、JA産直市も人気です。地元市民はもとより休日には観光客も訪れ、買い物や休憩場所、県南の観光案内の場としても賑わいをみせています。また、野球によるまちづくりに取り組む阿南市は、四国八十八ヶ所霊場にちなみ、「89番 野球寺」と名付けた必勝祈願のモニュメントを、道の駅に誕生させました。



89番 野球寺の
バッターやグローブをイメージした石碑



JA産直市 とれとれ市 公方

地元で採れた新鮮野菜や魚が所狭しとならんでいます。値段もリーズナブルで遠方から買い求めにくる人も。お惣菜コーナーでは地場の食材を使ったお寿司なども人気です。



喫茶・休憩コーナー

敷地内中心にある休憩コーナーはサークル状になっていて、飲食ブースがならんでいます。ドライブやツーリングの休憩ポイントです。



【公方の郷なかがわ 施設概要】

- ◎所在地 阿南市那賀川町工地803
- ◎駐車場 無料(大型5台・普通車82台・身障者用2台)
- ◎主要施設 産直市・物産展示コーナー・
情報提供コーナー・休憩コーナー・トイレ
- ◎営業時間 喫茶コーナー／9:00～17:30
JA産直市／7:00～17:00
(駐車場・トイレは24時間)
- ◎休館日 喫茶コーナー／毎週月曜日
JA産直市／毎週水曜日
- ◎問い合わせ TEL.0884-21-2631

物産展示コーナー

お土産を買うならここ。地元の木材で作られたおもちゃやコースター、銘銘など、県南の特産物展示と即売をしています。建物もログハウス調で、ゆったりとした気持ちでお土産選びが楽しめます。



アクセスマップ

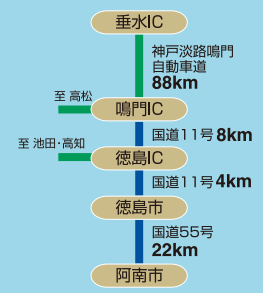


阿南市への交通

- 飛行機**
- 東京…約 1.2 時間
 - 福岡…約 1.3 時間
 - 札幌…約 2.0 時間 (夏期のみ)

- フェリー**
- 和歌山…約 2.0 時間
 - 東京…約 18 時間

高速自動車道



- JR**
- 徳島駅より牟岐線
 - 特急 約 25 分
 - 普通 約 50 分

路線バス

- 徳島駅前…約 1.0 時間
- ※阿南合同庁舎前までの時間

高速バス

- 阿南直行便路線
- 東京 約 10.1 時間
 - 大阪 約 3.2 時間
 - 神戸 約 3.0 時間
- ※運行会社により乗降場所が異なります。



- 空路**
- 徳島阿波おどり空港 Tel.088-699-2831
- フェリー**
- 南海フェリー Tel.088-636-0750
 - オーシャン東九フェリー Tel.088-662-0489
- 高速バス**
- 徳島バス Tel.088-622-1826
 - 高速バス、JPマイ・エクスプレス Tel.0570-064-188
 - JR四国バス高速バス徳島予約センター Tel.088-602-1090
- JR阿南駅** Tel.0884-22-0147
- 駅レンタカー**
- 阿南駅営業所 (要予約) Tel.0884-22-0147

伊島連絡船 時刻表

上り		下り			
便	伊島発	答島着	便	答島発	伊島着
1月~12月					
1便	7:00	7:30	1便	8:30	9:00
2便	10:00	10:30	2便	12:30	13:00
1月及び11月~12月					
3便	14:45	15:15	3便	16:15	16:45
2月及び10月					
3便	15:15	15:45	3便	16:45	17:15
3月~9月					
3便	16:00	16:30	3便	17:15	17:45

※荒天のため欠航する場合があります。

旅客運賃 (伊島-答島間・片道料金)

大人→1,030円 子→520円

問い合わせ

伊島連絡交通事業有限公司 Tel.0884-33-1271

阿南市物産館・観光案内所 (光のまちステーションプラザ)



紀伊水道と太平洋、四国山地に囲まれた阿南市は、豊富な海の幸、山の幸に恵まれています。自然の味がたくさんつまったお土産を揃えています。



- 営業 / 10:00 ~ 20:00
- 休業日 / 月曜日 (祝祭日の場合は火曜日)、12月29日~翌年1月3日
- 問合 / tel&fax 0884-24-3141
mail : hikarisp@woody.ocn.ne.jp



阿南市観光協会
インスタグラム



阿南市観光協会 HP

AKB 阿南市観光ブック

発行・編集 / 阿南市 〒774-8501 徳島県阿南市富岡町ノ町12-3 Tel.0884-22-3290
印刷 / 太陽高速印刷南